



有徳だより

自由と規律

令和5年度 第23号 発行：東京都立板橋有徳高等学校 定時制 教務部

令和5年11月1日発行

二学期がはじまり、2ヶ月が経ちました。コロナ禍から日常が戻りつつあり、学校行事も予定通り行うことができます。今年は例年に比べて夏は猛暑が続き、秋は残暑が続き、近頃やっと過ごしやすい気候になってきました。この季節は勉強に励むもよし、運動に励むもよし、読書をするもよし、自分のやりたいことや極めていきたいことに挑戦していくのもいいかもしれませんね。

令和5年度 蒼天祭 9月16日(土)・17日(日)

9月16日、17日に、全日制と合同の文化祭『蒼天祭』が開催されました。2020年から新型コロナウイルス感染症の影響で制限された中での実施でしたが、今年度は4年ぶりに制限なしの一般公開で開催することができました！1・2年次は合同で縁日&カジノ、3年次は初めての飲食販売、漫画研究部のプラバン体験&イラスト展示を行いました。各団体ともに来場客に笑顔を決やさず接しており、大成功に終わりました！

☆1・2年次 『アソビバ』

今年度は1・2年次が力を合わせ、縁日とカジノを融合させた「アソビバ」を提供しました。ビンゴ、ヨーヨー釣り、ダーツ、そして一発逆転のブラックジャック。自分たちでルールや装飾、景品を工夫して誰でも楽しめる空間を作り上げました！



☆3年次 『ケバブ～めんそーれ from OKINAWA～』

4年ぶりの飲食販売ではケバブを販売しました。ケバブのいい香りに誘われて、連日、長蛇の列ができるほどの大盛況！あっという間に売り切れになりました！修学旅行で訪れる沖縄の装飾も工夫されていました。高校生活最後の文化祭を有意義に過ごせたのではないのでしょうか。



☆漫画研究部『推しは推せるうちに推せ！！』

毎年好評のプラバン体験・ラミネートカード体験のほか、イラスト展示や部誌の発行、推しアニメの紹介を行い、全力で「推し活」を披露していました！来場者数は100名を超え、部誌や推しアニメ冊子も多くの方が手に取っていただきました。



令和5年度 「人間と社会」 10月11日(水)・18日(水)

令和5年10月11日(水)、フリーアナウンサーの町亜聖さんにヤングケアラーの実体験について講演をしていただきました。ヤングケアラーの課題には、「自分がやるべきだと思い込んでいる」「誰にも相談できない」などがあります。そんなヤングケアラーの支援として「弱音や本音を吐き出せる場所や人の確保」「専門職への相談」など一人で抱え込まず大人に頼ることが必要だと町さんは話していました。



ヤングケアラー講話

令和5年10月18日(水)には「若旅★授業」を行いました。若いうちに旅行(特に海外旅行)を経験することで身に付くものは「度胸や自信が身に付く」「国際感覚が身に付く」「自分の身の周りの世界がすべてではないと知る」など、社会に出てから役に立つものが多くあります。みなさんも学生のうちにいろいろな世界を旅して視野を広げてみるのもいいですね!



若旅★授業

令和5年度 防災講話 10月13日(金)

令和5年10月13日(金)、防災講話が行われました。はじめに東京都消防庁志村消防署の方から、近年中に起こるであろう大地震の災害発生時に予想される学校周辺の災害状況やその時に取るべき行動について話をうかがいました。正しい知識を身に付け、自分の身は自分で守ることの大切さを学びました。

講話終了後は年次ごとに分かれて、防災体験を行いました。災害用アルファ化米(乾燥ひじきご飯)の喫食体験は生徒会役員が早くから集合して、作り方を見ながら自分たちで全生徒分を作りました。災害用非常食でしたが、美味しかったです! 応急救護訓練では、心肺蘇生法(心臓マッサージ)、AEDの操作法を学び、人が倒れている場面を再現して生徒自身が応急救護を実践しました。VR・AR体験では、専用のゴーグルをかけて360度の仮想空間で災害体験を行いました。被災時の避難所の様子を体験するVR、火事を想定して煙で視界が遮られている中、障害物を避けながらゴールまで進んでいくARを体験しました。

これから先、実際に災害が発生しても、自身の安全を確保すること、そして誰かの命を救うことができるよう今回の経験を活かしていきましょう!



今後の予定

11月13日(月)	面談週間	12月20日(水)	セーフティ教室
~21日(火)		21日(木)	第2回球技大会
12月7日(木)	期末考査	22日(金)	二学期終業式・大掃除
~12日(火)			
13日(水)	臨時時間割		
~19日(火)	(2時間授業)		

2023年も残すところ2ヵ月になりました。時間は有限です。悔いのないように過ごしましょう!